

農 業

科 目 名	単 位 数	学 年	学 科
生物活用	2 単位	3年	農業機械 科

教科書	生物活用（実教出版）	副教材	自作プリント
-----	------------	-----	--------

科目の目標	1 園芸作物の活用、金属・木材加工を通して必要な知識と技術を習得する。 2 園芸作物、金属、木材の特性を理解し、活用方法を学ぶ。 3 ものづくりの製作を通じて、生活の質の向上を図る能力を養う。
-------	--

☆ 年間指導計画と学習のポイント ☆

	学 習 項 目	単元の評価の観点	
		①知識・技能	②思考・判断・表現
1 学期	第1章 生物活用の意義と役割 1 生物活用の意義と役割 2 植物・園芸と人間生活 3 動物と人間生活	金属・木材加工の方法を理解し、工具の使い方を身に付けている。 生物活用を通して、様々な情報を収集し、適切に活用することができる。	金属・木材加工の実習を通して、期日までに作品が完成するよう積極的に取り組んでいる。 様々な生き物、農作物を活用した活動に意欲的に取り組んでいる。
2 学期	第2章 生物を活用した療法 1 生物を活用した療法 2 園芸療法 3 動物介在療法		
3 学期	第5章 生物活用の実際 1 交流活動の実施		
1 金属・木材加工を通して、ものづくりの楽しさを学習します。 2 様々な農作物、生き物の特性を理解し、その活用方法を学びます。			

番号	評価の観点	評価規準
①	知識・技能	ものづくりを通して、工具の基本的な使い方などが正しく理解し、知識を身に付けている。 学習した内容および実習での経験によって、農作物に関する知識や理解が深まっている。
②	思考・判断・表現	生物活用で学んだことに関する課題を発見し、その解決に向けた取組を実践し、創造的に活動している。
③	主体的に学習に取り組む態度	工具の使い方が身に付いており、積極的に実習に取り組んでいる。
定期考査	1 学期中間・期末 2 学期中間・期末 学年末（計5回）	
評価方法 （観点番号）	以下を総合的に評価する。 ①知識・技能（授業・実習の態度、課題、提出物） ②思考・判断・表現（定期考査、課題） ③主体的に学習に取り組む態度（授業・実習態度、定期考査、提出物等）	